東証プライム：5262

NIPPON HUME
日本ヒューム株式会社

2025年3月期第2四半期
決算説明会資料

2024年11月12日

目次

1．会社概要

2．2025年3月期第2四半期 業績説明

3．2025年3月期通期 業績予想

4．「23-27計画Ｒ」における取り組み状況

5．その他トピックス

1

会社概要

日本ヒュームグループの事業概要

- 「社会基盤の整備に参加し、豊かな人間環境づくりに貢献する」を理念とした企業活動
- 連結子会社：9社、持分法適用関連会社：6社を含むグループで社会基盤の整備に貢献

下水道関連事業

- 雨水対策に用いられるヒューム管、セグメントなどコンクリート製下水道関連製品の製造
- 下水道関連の工事（耐震化/管渠更生など）

<連結子会社>

・東邦ヒューム管株式会社

・日本ヒュームエンジニアリング株式会社

管更生（3Sセグメント工法）

合成鋼管

基礎事業

- コンクリートパイルの設計・製造・販売・施工のワンストップ体制
- コンクリート製品用型枠の販売
- コンクリート製品用資材の販売

<連結子会社>

・ニッポンヒュームインターナショナルリミテッド 他海外1社

パイル施工

パイル製造

プレキャスト事業

- PCウェル、ボックス、PGF・壁高欄などコンクリート製道路関連製品、その他プレキャストコンクリート製品の製造

PCウェル

壁高欄

RCセグメント

ボックスカルバート

太陽光発電・不動産事業

- 不動産の賃貸、管理及び開発
- 発電および売電に関する事業
- 環境関連機器の販売及びメンテナンス

<連結子会社>

・株式会社環境改善計画

・株式会社ヒュームズ

太陽光発電所

鉄工・鉄筋

- 管路用・基礎用製品の型枠、及びその周辺部品

<連結子会社>

・株式会社鋼商

・技工曙株式会社

・株式会社エヌエィチ・フタバ

環境・衛生システム(コンサル)

- オゾン脱臭システム
- 環境（空気・水等）の浄化システム
- 環境・衛生コンサルティング

<連結子会社>

・株式会社環境改善計画

その他事業

- レンタル事業

2

2025年3月期第2四半期
業績説明

① 連結損益計算書

- 全体需要は減少するも、主力の基礎事業及び下水道関連事業で受注が増加、原材料高騰に対し、売価見直しが進展。コスト削減も奏功し、増収増益。
- 上半期で当期純利益は通期計画を達成。

（単位：百万円、%）

	FY2023 上期		FY2024 上期			
	金額	構成比	金額	構成比	前期同期比	
					増減額	増減率
売上高	14,340	100.0	**18,922**	**100.0**	**+4,581**	**+31.9**
営業利益	287	2.0	**1,468**	**7.8**	**+1,181**	**+411.6**
経常利益	1,114	7.8	**2,491**	**13.2**	**+1,377**	**+123.6**
中間純利益(※)	1,150	8.0	**2,082**	**11.0**	**+932**	**+81.1**
減価償却費	344	–	**363**	**–**	**+19**	**+5.5**
設備投資	248	–	**469**	**–**	**+220**	**+89.0**

(※)親会社株主に帰属する中間純利益

② 連結貸借対照表

（単位：百万円）	2024年3月末	2024年9月末
流動資産	32,556	**31,345**
(現金及び預金)	14,391	14,962
(棚卸資産)	4,212	4,482
固定資産	29,522	**28,965**
(有形固定資産)	9,636	9,541
(無形固定資産)	184	184
(投資その他の資産)	19,700	19,239
資産合計	62,079	**60,311**

（単位：百万円）	2024年3月末	2024年9月末
流動負債	15,656	**14,240**
（短期借入金）	1,448	887
固定負債	4,823	4,480
負債合計	20,479	**18,721**
株主資本	37,773	38,485
（自己株式）	△2,765	△3,495
純資産合計	41,599	41,589
負債･純資産合計	62,079	**60,311**

③ 2024年度上期 業績総括（連結）

- 基礎事業では、全体需要減少も受注増及び工事利益改善により**大幅増収増益**
- 下水道関連事業では、全体需要減少も高付加価値製品（合成鋼管）の出荷増により**大幅増収増益**

【売上高】 連結売上高 18,922百万円　前期同期比＋4,581百万円 ＋31.9%

基礎事業	12,639百万円	＋ 3,234百万円 ＋ 34.4%	● 大型杭工事の受注増による大幅増収
下水道関連事業	5,532百万円	＋ 1,395百万円 ＋ 33.7%	● 合成鋼管の出荷増による大幅増収
太陽光発電・不動産事業	712百万円	△ 58百万円 △ 7.6%	
その他事業	36百万円	＋ 10百万円 ＋ 38.1%	

【営業利益】 連結営業利益 1,468百万円　前期同期比＋1,181百万円 +411.6%

基礎事業	1,221百万円	＋ 894百万円 ＋ 274.2%	● 受注増及び工事利益改善による大幅増益
下水道関連事業	881百万円	＋ 440百万円 ＋ 99.8%	● 合成鋼管の出荷増による大幅増益
太陽光発電・不動産事業	406百万円	△ 19百万円 △ 4.7%	
その他事業	28百万円	＋ 9百万円 ＋ 47.0%	

（注）営業利益には、調整額△1,069百万円は含まれておりません。

3

2025年3月期（通期）
業績予想

2024年度（通期）業績予想

- 主力事業である基礎事業・下水道関連事業ともに下期も堅調に推移する見込み
- 当期純利益は期初予想20億円をさらに６億円上回る26億円を予想

期初予想より大幅に上方修正

（単位：百万円）

	FY2023 実績	FY2024 (期初予想)	FY2024 上期実績	FY2024通期 (修正予想)		
	金額	金額	金額	金額	期初予想差 増減額	前年同期比 増減額
売上高	33,732	37,000	18,922	**37,000**	**±0**	**+3,267**
営業利益	1,381	1,700	1,468	**1,900**	**+200**	**+518**
経常利益	2,391	2,600	2,491	**3,000**	**+400**	**+608**
当期純利益(※)	1,912	2,000	**2,082**	**2,600**	**+600**	**+687**

(※)親会社株主に帰属する当期純利益

4

「23-27計画Ｒ」における取り組み状況

4-1

部門別戦略

事業戦略200年企業の基盤構築（構造改革）の進捗

営　業　部　門

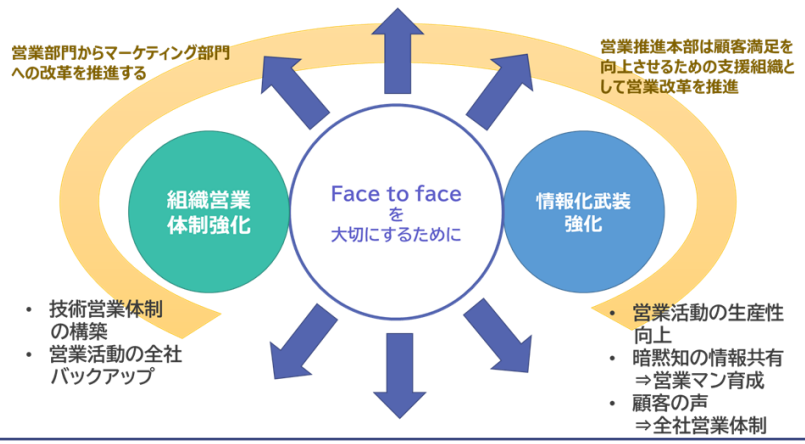
- **組織営業体制の強化**
  ①技術営業体制の構築
  ②営業活動の全社バックアップ

- **情報化武装強化**
  ①営業活動の生産性向上
  ②暗黙知の情報共有（営業マン育成）
  ③顧客の声（全社営業体制）

⇒営業部門からマーケティング部門への新化
⇒営業推進本部による営業改革

『23-27計画R』営業戦略

組織営業体制強化、情報化武装により顧客接点を強化し、事業拡大を目指す



2024年度上期までの進捗

□ CRMツール(顧客管理システム)の活用

・全部門が有機的につながる組織営業体制の構築を目的として前期より導入

⇒人脈情報のデータベース化完了
⇒新製品の開発を目的とした顧客の声のＤＢ化によるニーズの集約
⇒物件の進捗フォローアップ強化のため、未更新案件のアラート機能追加

□ 暗黙知の情報共有（営業マン育成）

・データベース化による組織～個人までの目標管理及びマネージメントの強化

⇒物件の見える化による白地から受注までの指導
⇒受注活動データから個人のパフォーマンスを分析し、改善点を指導
⇒営業ロールプレイの実施
①20代の若手社員を即戦力化
②営業に一番必要なヒアリング力の向上
③成果確認のための若手社員を講師とした製品研修会の開催

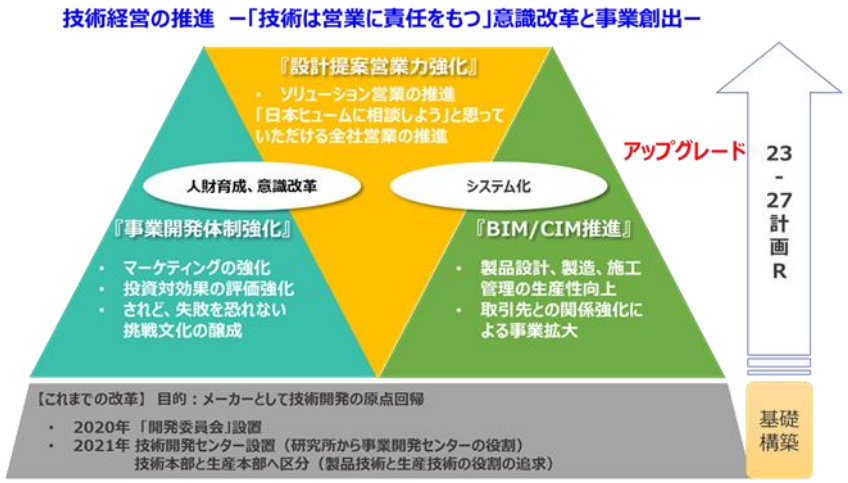
事業戦略200年企業の基盤構築（構造改革）の進捗

2024年度上期までの進捗

技　術　部　門

- 設計提案営業力強化
  ①ソリューション営業の推進
- 事業開発体制強化
  ①マーケティングの強化
  ②投資対効果の評価強化
  ③失敗を恐れない挑戦文化の醸成
- BIM/CIM推進
  ①製品設計、製造、施工管理の生産性向上
  ②取引先との関係強化による事業拡大

『23-27計画R』技術戦略



□ 設計提案営業力強化

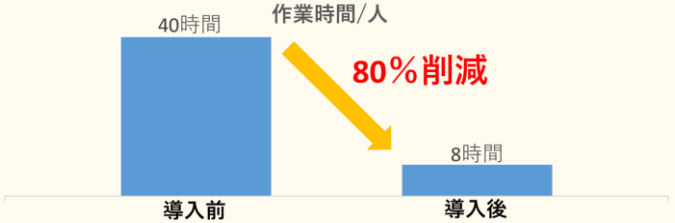
提案件数を増やすためのDX化を推進

効率アップによる提案数増大

・PCウェル工法設計ソフト改良

⇒1件あたりの作業時間80%削減の効率化達成

各事業拠点に展開し、拡販に貢献（P.23参照）



・プレキャスト製品の自動割付システム開発中

（2025年3月完了予定、 進捗率50%）

□ プレキャスト設計センターの実績

・本社による支社への設計サポート拡大

⇒今期上期は39件実施（前期上期は17件）

進捗率65%（今期目標60件）

・本社からの設計支援による各拠点の設計力育成

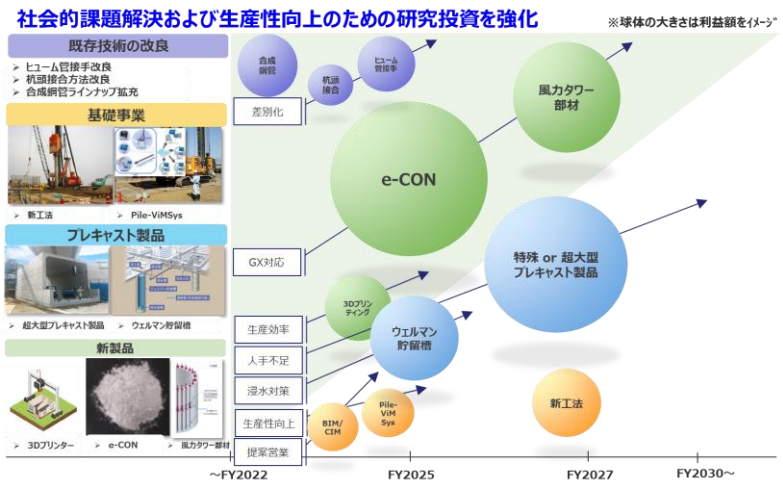
事業戦略200年企業の基盤構築（構造改革）の進捗

2024年度上期までの進捗

技 術 開 発 投 資

- 既存技術の改良
  ヒューム管新継手 他
- 基礎事業
  新工法・Pile-ViMSys 他
- プレキャスト製品
  超大型プレキャスト、ウェルマン貯留槽 他
- 新製品
  3Dプリンター、e-CON 他

『23-27計画R』技術開発投資



- □ 低炭素型高機能コンクリート『e-CON®』
  ⇒ セメントレスプレキャスト製品用コンクリートとして建設技術審査証明を取得（P.21参照）
- □ 中掘工法の拡大（新工法開発）
  ⇒必要な試験施工が完了し施工技術審査証明を取得
  ⇒対応する既製コンクリート杭は近々認定取得見込
- □ 3Dプリンティング
  ⇒ 実案件出荷中
  工事件数：3件、出荷総数：500個

- □ 高耐圧対応コンクリート推進管JIP PIPEの新しい継手認定(JSWAS A-2)
  ⇒地盤変位や障害物に対しての止水性能10%向上

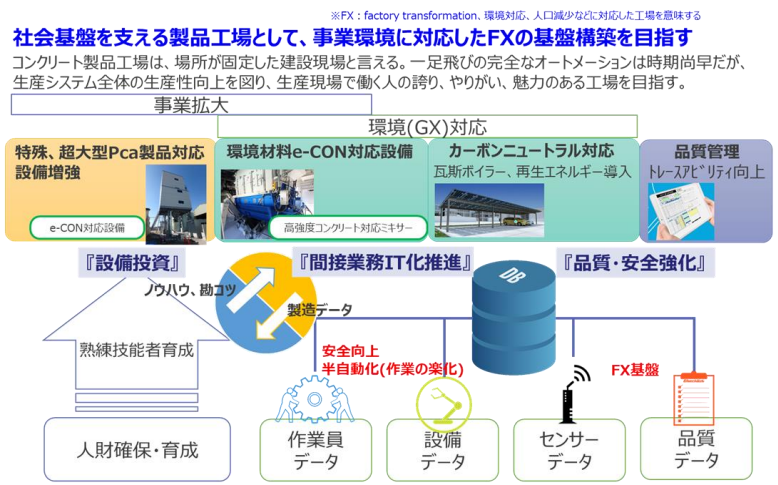
事業戦略200年企業の基盤構築（構造改革）の進捗

2024年度上期までの進捗

生 産 部 門

- 設備投資
  大型プレキャスト製品への対応
- 間接業務IT化推進
  システム導入/DX化推進
- 品質・安全強化
  設備及び品質管理システムの導入

『23-27計画R』生産戦略



□ 設備投資

・大型プレキャスト製品受注増への対応

⇒大型製品用研磨機の追加導入（1台）により接合面研磨能力の倍増

□ 設備及び品質管理システムの運用

・設備点検表のデジタル化

⇒全工場で完了済（設備の見える化達成）

⇒IoTセンサーを活用した予防保全管理の実施

・品質管理書類のデジタル化

⇒熊谷工場で完了（12%以上の能率向上達成）

今期中に全工場へ導入予定

□ 安全の強化

⇒経営トップによる安全パトロールの継続実施

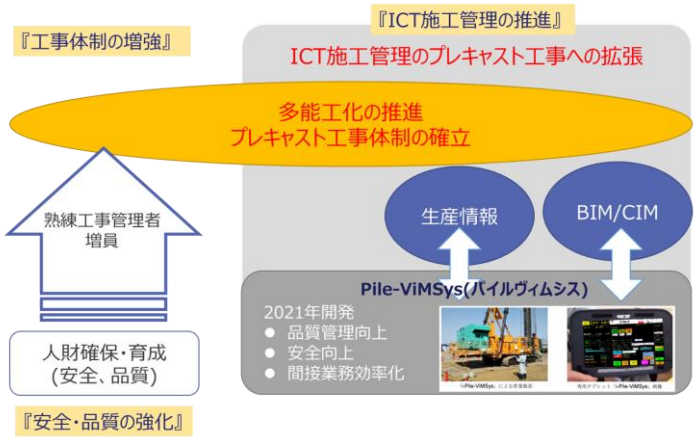
事業戦略200年企業の基盤構築（構造改革）の進捗

工 事 部 門

- 安全・品質の強化
  ①人財育成、安全研修の充実
  ②安全パトロールの増加
- 工事体制の強化
  ①採用強化
  ②多能工化の推進とプレキャスト工事体制確立
- ICT施工管理の推進
  ①ICT施工管理のプレキャスト工事への拡張

『23-27計画R』工事戦略

「品質と安全」「体制」を強化することで、選ばれる工事を目指す



2024年度上期までの進捗

□ 安全・品質の強化

⇒工事リスク集約表/事例集の活用による
施工トラブル予防の実施

□ 工事体制の強化

⇒プレキャスト工事要員として現場管理者4名増員

⇒協力会社ニーズをくみ取り技術開発につなげるため
全国工事協力会合同会議（百光会）を開催

□ ICT施工管理の推進

・『Pile-ViMSys』
⇒杭伏図機能追加による運用進化（P.20参照）
⇒運用拡大/作業時間61%削減

・『ViMCam』(プレキャスト工事へ適用拡大)
⇒今期中にPCウェル実現場で試験運用見込み

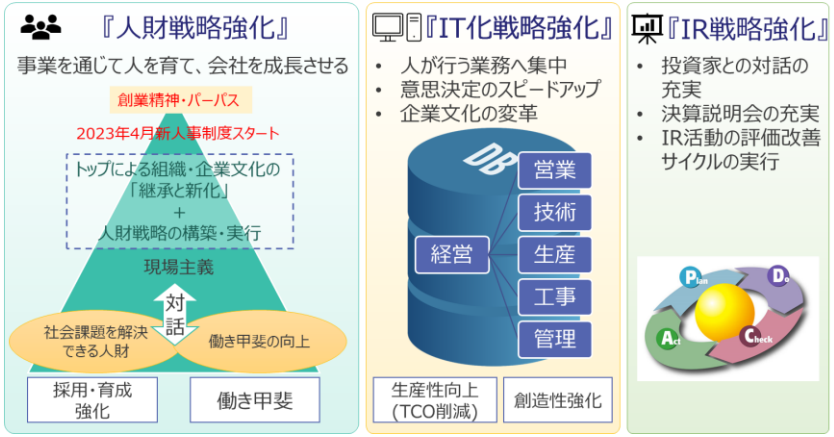
事業戦略200年企業の基盤構築（構造改革）の進捗

管　理　部　門

- **人材戦略強化**
  ①トップによる組織・企業文化の「継承と新化」
  ②人財採用・教育
- **IT戦略強化**
  ①システム導入支援
- **IR戦略強化**
  ①投資家との対話の充実

『23-27計画R』管理戦略

人財戦略、デジタル化、IR強化を通じて企業価値の向上を目指す



2024年度上期までの進捗

□ **トップによる車座会議の定期実施**
⇒現場への経営方針の周知
⇒現場の生の声を経営へ反映

車座会議の様子

□ **人財採用強化**
⇒即戦力の中途採用の大幅増
（前期上期5名⇒今期上期20名）
⇒大学・専門学校への定期訪問や学内合同説明会等の参加によるコミュニケーション強化
（前期上期3校⇒今期上期10校）

□ **教育制度**
⇒階層別研修（e-learning）
従業員のスキル向上や効率化を図る

□ **IR戦略強化**
⇒IR面談の充実　今期上期17件（前期上期11件）
⇒個人投資家向け「資産運用EXPO2024」へ初出展
⇒株主総数 5,796人　→　7,028人（1,232人増）

4-2

事業セグメント別戦略

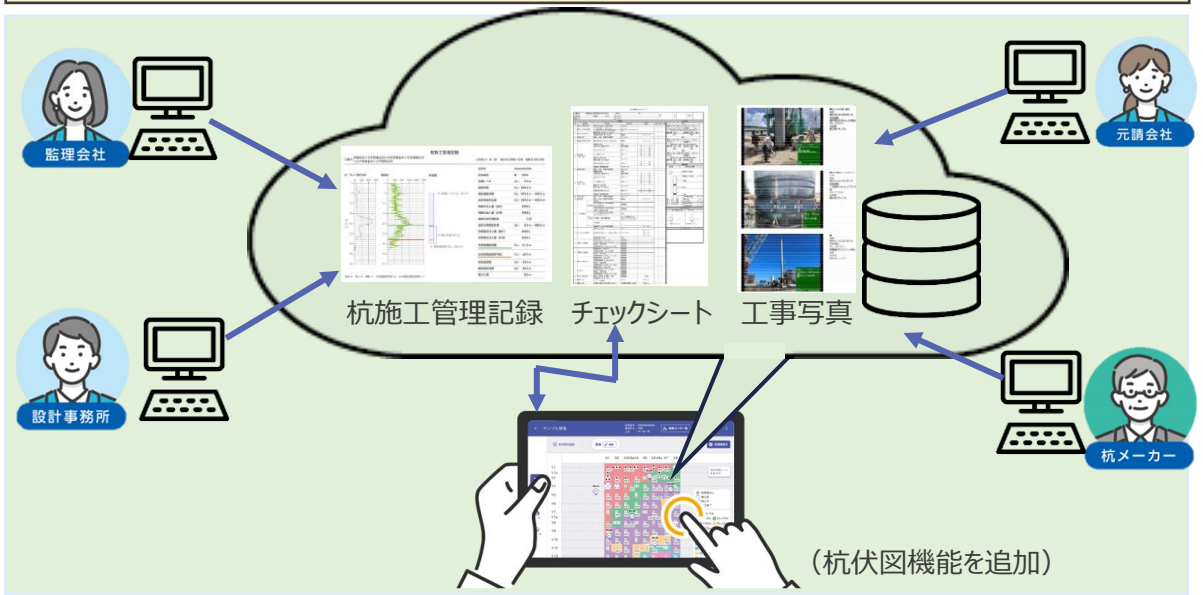
基礎事業①

重点施策「基礎事業の採算改善と安定化」「デジタル化によるトランスフォーメーション」

対処すべき課題	2024年度上期での取組内容と成果
➢ 営業利益の改善	• きめ細やかな活動による売価改善や大型土木杭工事の出荷により、営業利益率は前期上期3.4%から今期上期9.7%へ大幅向上
➢ 中掘工法の拡大（新工法開発）	• 中掘工法（建設残土やCO2排出量の削減にも貢献）において業界トップの支持力を目指す新工法の開発に取り組んでいます。 • 必要な施工試験が完了し、施工技術審査証明を取得（2024年7月）しました。 • 新工法に使用する既製コンクリート杭についても近々評定取得を見込んでおり拡販に向けて取り組んでまいります。 【杭の施工試験の様子】

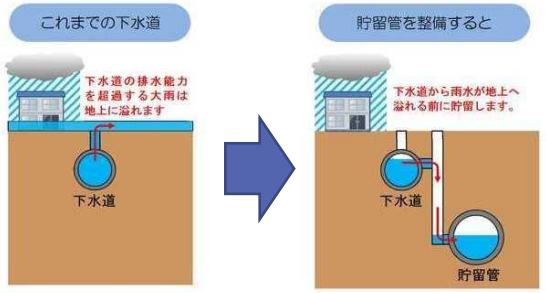
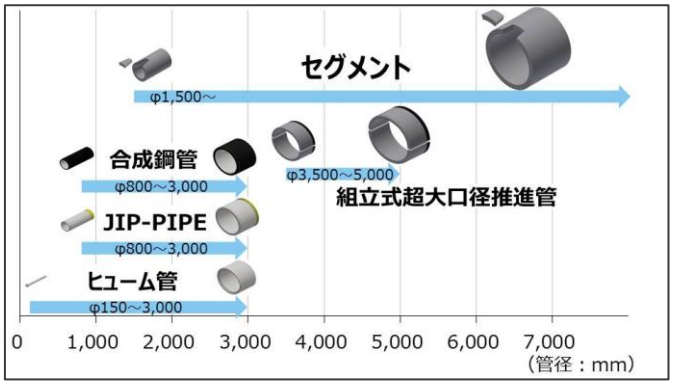
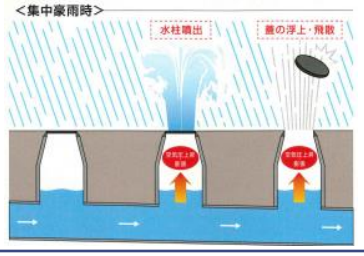
基礎事業②

重点施策「基礎事業の採算改善と安定化」「デジタル化によるトランスフォーメーション」

対処すべき課題	2024年度上期での取組内容と成果
➢ **ICTツールの機能拡大**	• **Pile-ViMSysに杭伏図機能を追加し操作性向上** **「i-Construction2.0」にて取り組むべき「施工管理のオートメーション化」の実現へ** 【特性】 ・杭伏図で一見して杭の施工状況（施工前、施工中、施工完了）の確認 ・見たい杭をタップして、施工状況をリアルタイムでの確認および承認 ・工事関係者が工事現場に臨場する必要なく施工状況を把握 

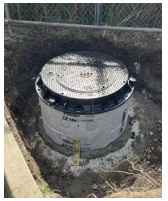
下水道関連事業

重点施策「創業以来の下水道事業のトータルソリューション増強」

対処すべき課題	2024年度上期での取組内容と成果
➢ ヒューム管シェアNo.1 ➢ 付加価値製品の販売拡大	• 今期上期の出荷シェアは**24.3%（1位）** 前期上期18.８%より大幅向上
➢ 雨水災害対策の需要増への対応	• 雨水災害対策としての下水道管需要が増加 雨水対策事業で使用される当社製品群   • 空気圧解放装置拡販  マンホール蓋と受枠の代わりに設置することによって、管路内の圧力を効率よく減少させ、マンホール蓋の 浮上・飛散やマンホールからの水柱噴出を抑制

プレキャスト事業①

重点施策「創業以来の下水道事業のトータルソリューション増強」

対処すべき課題	2024年度上期での取組内容と成果
➢ 脱炭素コンクリートの対応	• 『e-CON』 **建設技術審査証明取得** ➢ セメントレスプレキャスト製品用コンクリートとしては、**日本初 セメントと同等の性能証明** ①セメントコンクリートと同等の成形性・力学的特性・長さ変化特性※ ②耐硫酸性：普通コンクリートの10倍以上※　※今回の審査証明の対象です。 技術名称：セメントレスプレキャスト製品用コンクリート『e-CON』 建設技術審査証明（土木系材料・製品・技術、道路保全技術） 一般社団法人　土木研究センター建技審証　第2402号 ➢ その他の特徴 ③CO2削減率：普通コンクリートに比べ約80%削減 ④耐塩害性：普通コンクリートの5倍（塩分拡散係数） ⑤産業副産物利用率：セメントに代わる主成分　リサイクル材を90%使用 ➢ 納入事例  マンホール 生物共生パネル プレキャスト弁室 ➢ 今後の展開 ● 上記5つの特性を生かせる、様々な現場での採用を目指してゆく

プレキャスト事業②

重点施策「プレキャスト製品事業の増強」「コンクリート製品テクノロジーによる高付加価値製品の拡販」

対処すべき課題	2024年度上期での取組内容と成果
➢ プレキャスト製品事業の強化	• プレキャスト製品の売上高が前年同期比約1.5倍に増加 • 今後の案件予材量は、2024年10月中旬時点で2024年3月末比で約1.5倍に向上 RCセグメント ウェルマン 大型ボックスカルバート
➢ PCウェルの拡販	・道路事業向けでは新設道路で採用、再開発事業向けでは広島駅ペデストリアンデッキ、大阪モノレール延伸事業の継続採用が決定 ・設計のスピードアップ化のため『PCウェル工法の設計ソフト』改良済み 【PCウェル施工写真】 ・設計者育成のため、3DCAD研修を毎月実施中

プレキャスト事業③

重点施策「プレキャスト製品事業の増強」「コンクリート製品テクノロジーによる高付加価値製品の拡販」

対処すべき課題	2024年度上期での取組内容と成果
➢ 浸水対策事業での拡販	・浸水対策工事の工期短縮として、 雨水貯留施設にプレキャスト遊水池が採用 ・プレキャスト遊水池は場所打ちに比べ工期が短く、内水氾濫対策として提供されています。 【プレキャスト式雨水貯留施設】
➢ 道路分野でのPca 壁高欄・区画柵の拡販	・関東・東北地区を中心に売上高は前年同期比1.8倍 ↓ ・出荷高は前期今期と順調に伸長しており更なる販売拡大を目指してゆく 【プレキャスト壁高欄】

プレキャスト事業④

重点施策「プレキャスト製品事業の増強」「コンクリート製品テクノロジーによる高付加価値製品の増強」

対処すべき課題	2024年度上期での取組内容と成果
➢ ３Ｄプリンティング導入	３Ｄプリンティング導入 ・労働人口減少対策 ・製造期間の短縮（型枠不要） ・従来鋼製型枠では対応が難しかった複雑な構造や曲線構造に対しても、製造可能。 【3Dプリンティングで製造した製品】 様々なプレキャスト製品製造を可能とし、事業拡大を目指す

4-3

ESG戦略

ESG戦略（E：環境）

- e-CON®建設技術審査証明取得
- 温室効果ガス削減施策

低炭素型高機能コンクリート「e-CON」

セメントレスプレキャスト製品用コンクリートとして、日本で初めて建設技術審査証明（一般財団法人土木研究センター）を取得しました。

建設技術審査証明書

技術名称 セメントレスプレキャスト製品用コンクリート「e-CON」

一般財団法人 土木研究センター
理事長 伊藤正秀

東京都下水道サービス株式会社
日本ヒューム株式会社

e-CONは、製鉄所等からの産業副産物であるフライアッシュ、高炉スラグ微粉末、スーパーアッシュ（粒度調整灰）を使用するため、**地球環境の保全、資源の有効利用にも寄与しています。**

温室効果ガス削減施策

- **2024年熊谷工場でガスボイラー運転を開始**

- **尼崎工場（2025年1月）と三重工場（2024年11月）ガスボイラーを導入**

2024年度CO2排出量は、2013年度比で51%減

ESG戦略（S：社会）

- おしごと年鑑2024協賛
- 彩の国工場に指定

おしごと年鑑2024協賛

小・中学生向けキャリア教材『おしごと年鑑2024』に協賛しました。
当社では、子どもたちにさまざまな職業を紹介し、将来のキャリア選択の一助となることを目的とした出版物である点に共感し、地下インフラを支える当社の「おしごと」を広く理解していただこうと協賛しました。
本書は75,000部発行され、全国の小中学校に無償配布されました。

彩の国工場に指定

熊谷工場が令和６年の「彩の国工場」に指定されました。
「彩の国工場」は、工場見学の受入れや地域貢献などを積極的に行い、地域に開かれ、地域に愛される埼玉県内の工場が指定されます。

2024年10月31日
埼玉県知事公館にて

4-4

財務戦略

財務戦略（資本政策）

➢ 株価及び1日平均売買代金の状況

株価推移

- 2023年4月1日以降新中期経営計画『23-27計画R』の着実な実行により**株価**は、2023年3月末の750円から、2024年9月末には**1,332円まで大幅に向上**

- 1年間の1日平均売買代金は、2023年度の※28百万円から2024年度（9月末時点）では**※88百万円に大幅に向上**

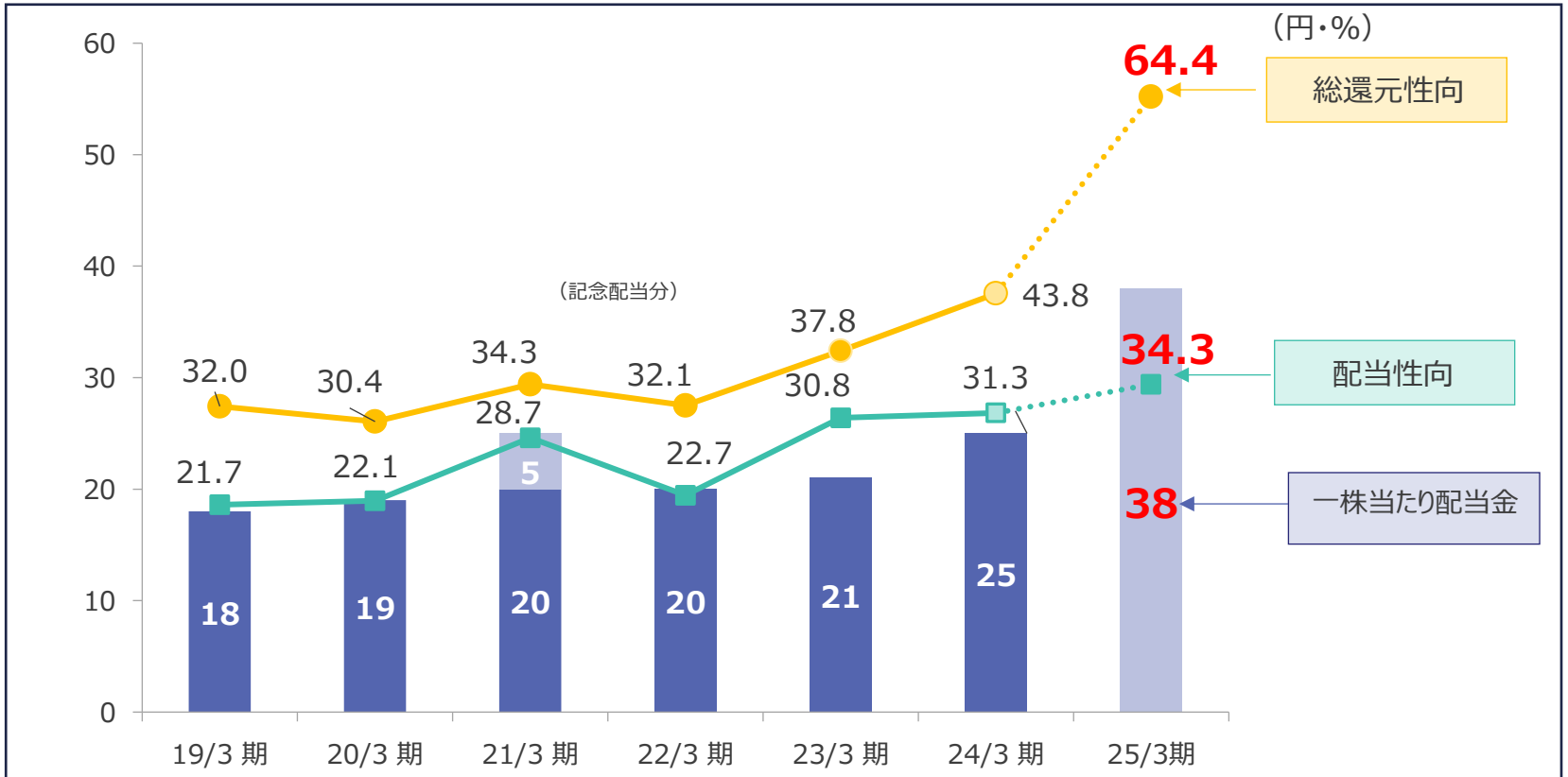
（※）当社が独自に算出を行ったものになります。

財務戦略（株主還元）

➢ **安定的株主還元の向上**

✓ 前期比**13円増配**の**38円**を予定
⇒2025年3月期より**中間配当**を予定
2024年12月 19円/株　2025年６月 19円/株

✓ 自己株式の取得（上限：8億円　60万株）※９月までに取得完了



（注）21/3期には、95周年記念配当の5円が含まれます。

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について①

現状認識

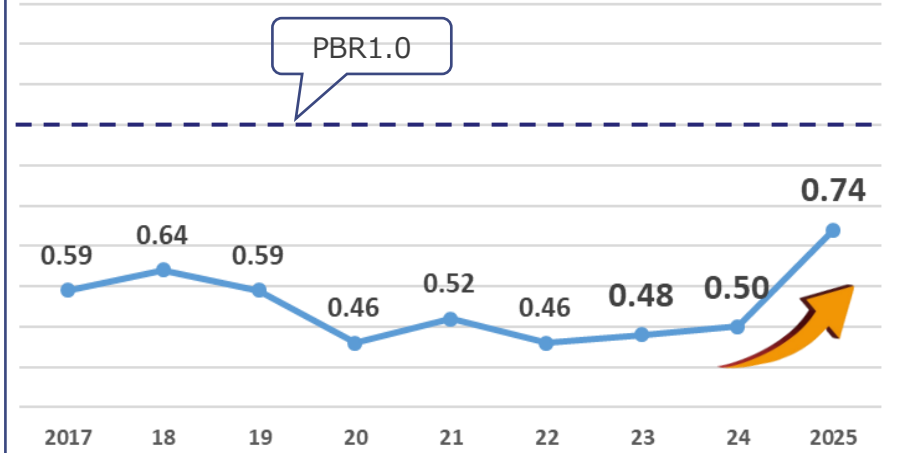
株主資本コストは6～7%程度

株主資本コスト（参考値）＝リスクフリーレート+β×市場リスクプレミアム
6.6%　　1.1%　0.92　6%

※客観的な参考値の一つとしてCAPMを使用
※リスクフリーレートは10年国債利回りを使用
※5年月次修正βを使用

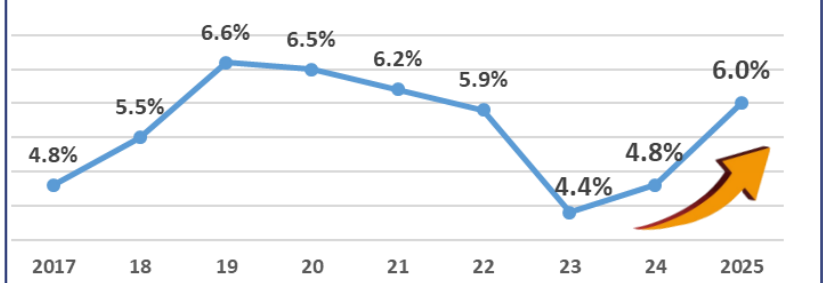
PBR ＝ ROE × PER

PBR推移



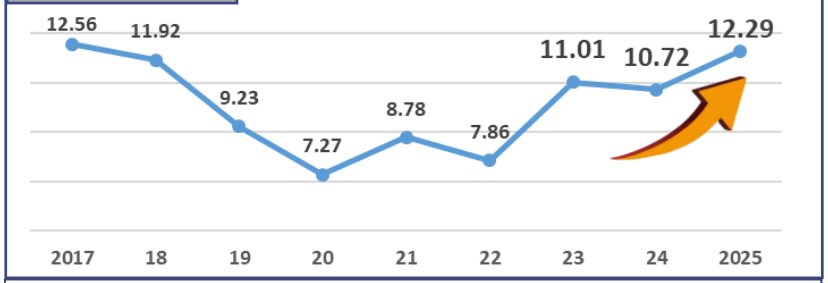
PBRは1.0を下回っているものの、「中期経営計画23-27計画R」実施後の2023年以降は改善傾向。2025年は0.75程度にまで上昇改善している

ROE推移



ROEは8%を下回っているが直近では6.0%まで改善

PER推移



PERも直近では改善傾向

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について②

方　針

総還元性向＝50%以上

目標ROE＝8%

ROE向上：
①資産効率の向上
②適切な資本構成
PER向上：
③株主資本コストの低減

取り組み内容

①全体	➢ 中期経営計画「23-27計画R」の着実な実行
②資産効率の向上	➢ 事業収益力向上加速/成長戦略の着実な実施 ➢ 資産有効活用/政策保有株式の縮減
③適切な資本構成	➢ 株主還元強化 ➢ 自己資本水準の適切な管理
④株主資本コスト低減	➢ IR活動強化 ➢ サスティナビリティ経営推進

5

その他トピックス

その他トピックス

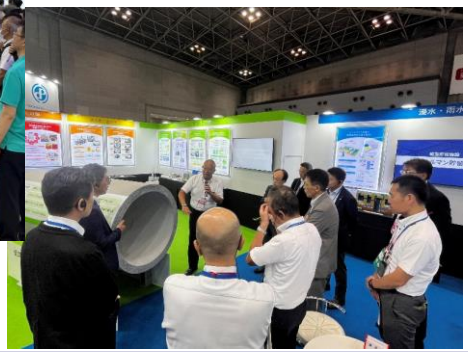
下水道展'24東京に出展

「脱炭素」、「都市防水」、「下水道施設の防食」、「省人化」など下水道分野、建設業界を取り巻く課題を解決する製品や工法をＰＲしました。

期　　間　：2024年7月30日～8月2日

会　　場　：東京ビッグサイト

ＰＲ製品　：e-CON、ウェルマン貯留槽、合成鋼管、バルブボックス、ガリガリ君/フロートレス工法ほか



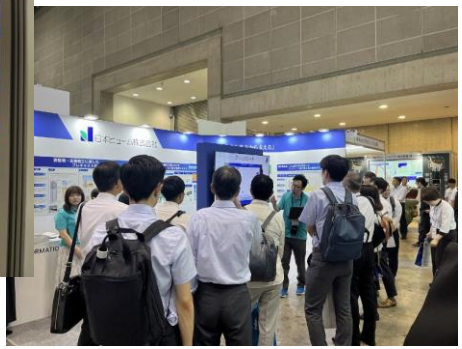
地盤技術フォーラム2024（基礎工技術展）に出展

「安心の未来を地下から支える」をテーマに公共インフラを支える製品や工法をＰＲしました。

開催日　：2024年9月18日～20日

会　　場　：東京ビッグサイト

ＰＲ製品　：Pile-ViMSys、New-STJ-Ⅱ工法、PCウェル工法



その他トピックス

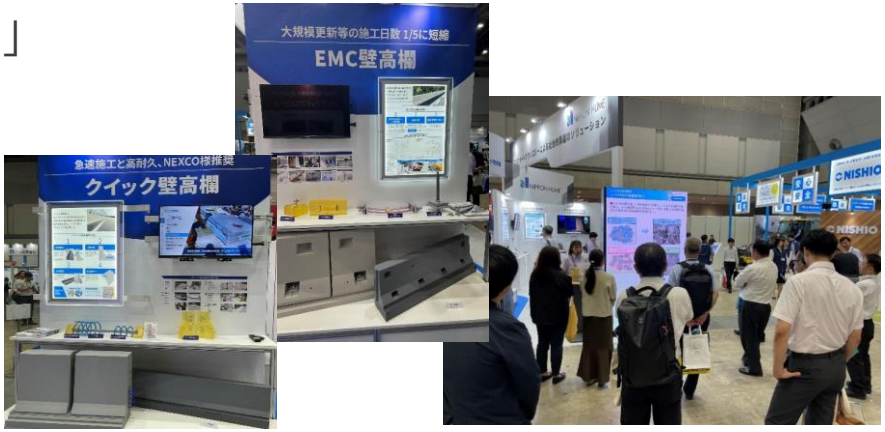
ハイウェイテクノフェア2024に出展

「コンクリートテクノロジーによる社会的課題のソリューション」をテーマに、道路分野・建設業界を取り巻く課題を解決する製品や工法の展示を行いました。

期　　間　：2024年9月26日～27日

会　　場　：東京ビッグサイト

ＰＲ製品　：プレキャスト壁高欄、PCウェル、e-CON、Pile-ViMSys、ViMCamほか



資産運用EXPO【夏】に出展

投資家様との直接対話を目的として初出展。
2025年10月に100周年を迎える当社の歴史や株式の魅力をＰＲしました。

期　　間　：2024年7月12日～14日

会　　場　：東京ビッグサイト

NIPPON HUME Group

【将来に関する記述等について】

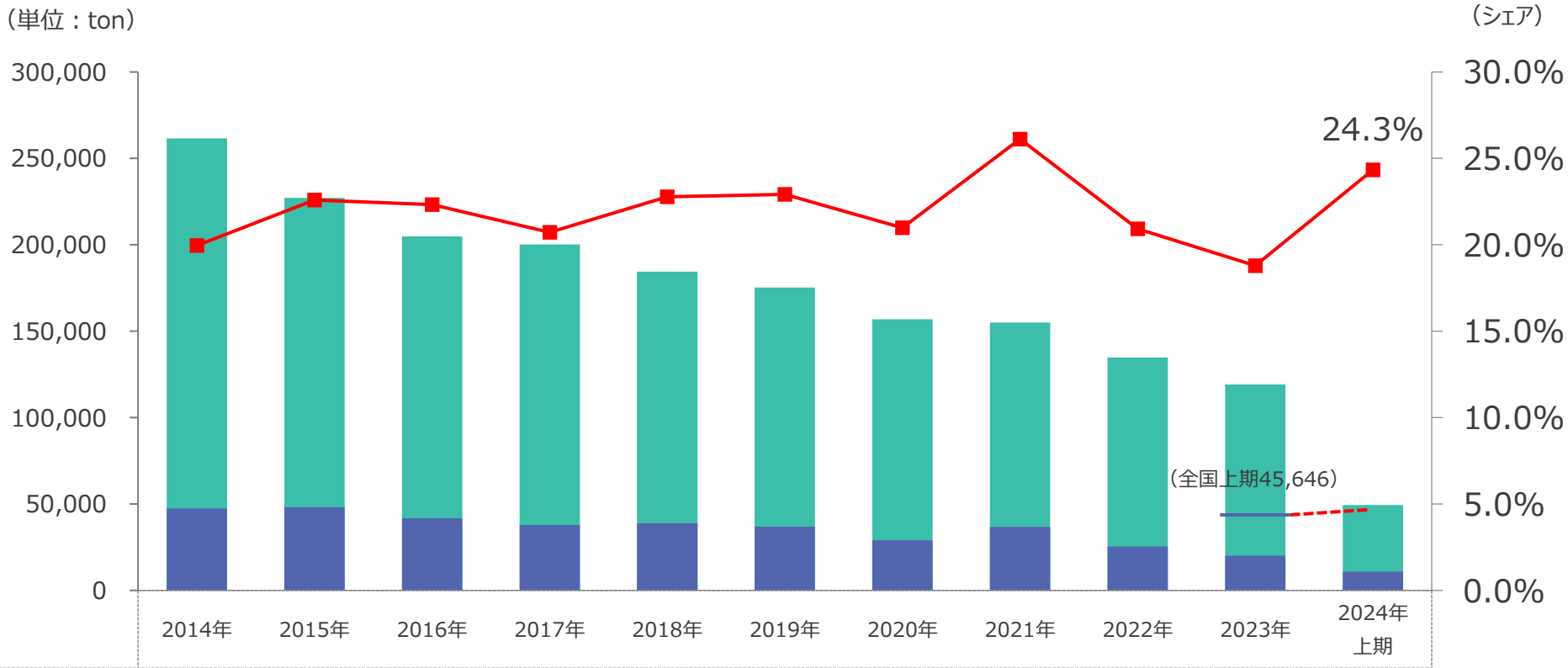
本資料は、発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。
今後、実際の業績は、金融市場の動向、経済の状況、競合の状況や地価の変動の他、様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

【数値表記について】

百万円未満は切り捨てで表示しております。そのため、一部合計数値が一致しないところがございます。

参考資料

業界データ（下水道関連事業）：ヒューム管需要推移

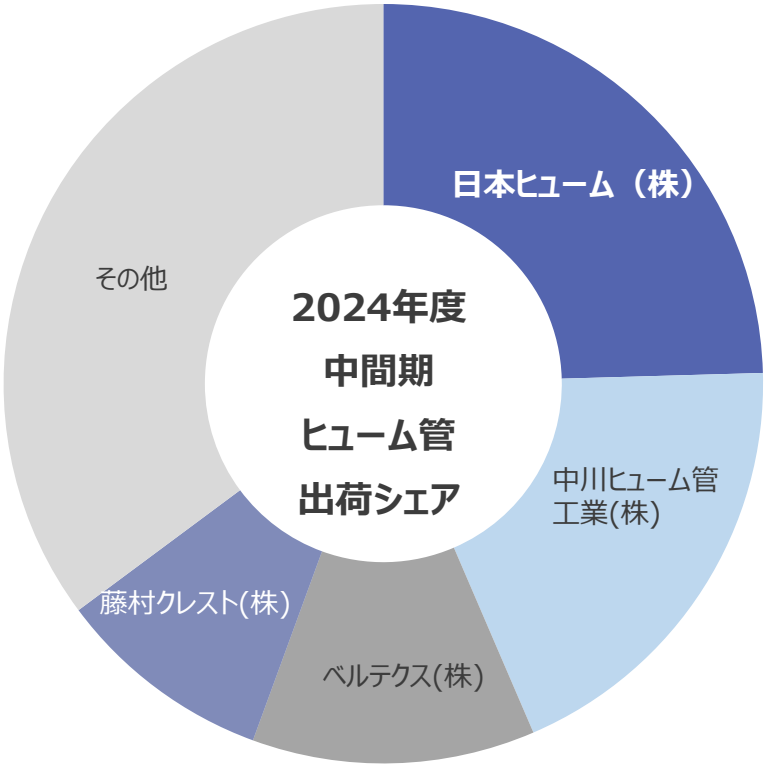


	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年上期
全国	261,630	227,203	204,896	200,138	184,450	175,235	156,840	154,962	134,820	119,132	49,347
日本ヒューム	47,440	48,143	41,716	37,864	38,818	36,941	29,071	36,862	25,398	20,145	11,012
日本ヒュームGrシェア率	20.0%	22.6%	22.3%	20.7%	22.8%	22.9%	21.0%	26.1%	20.9%	18.8%	24.3%

（出典：全国ヒューム管協会資料より算出）

業界データ（下水道関連事業）：2024年度上期ヒューム管出荷実績

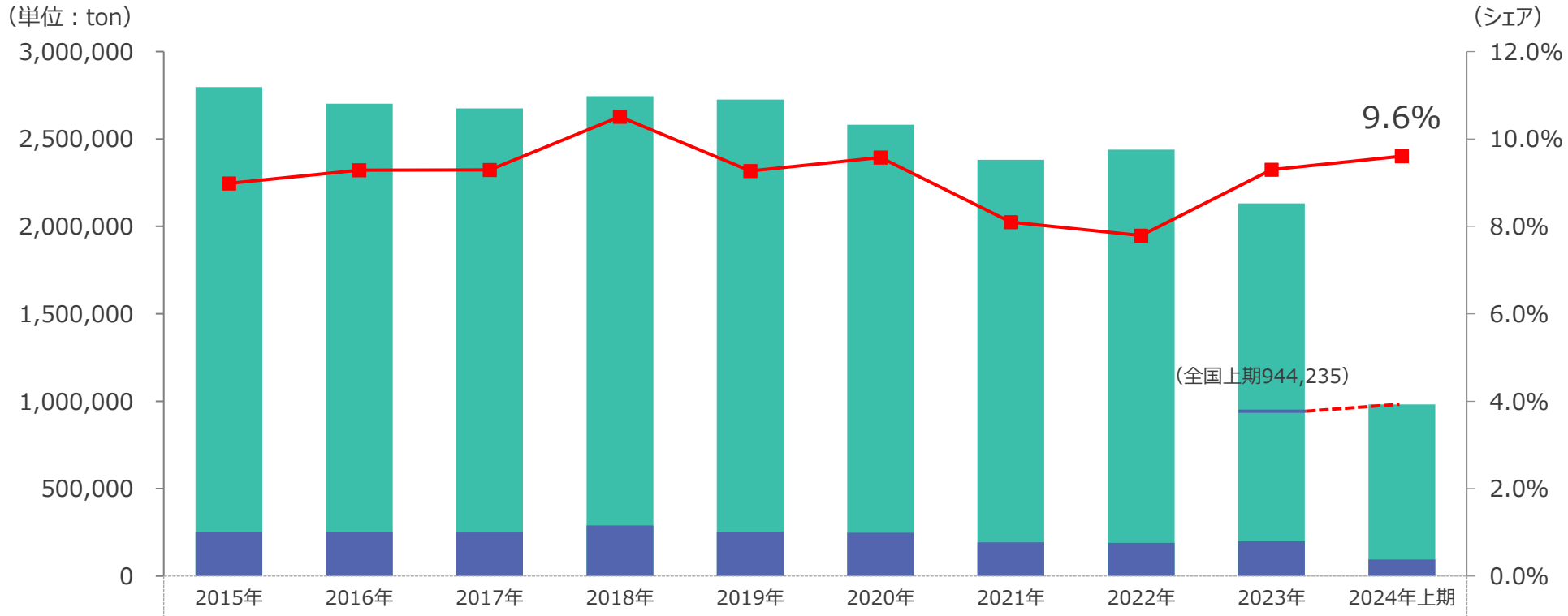
	会社名	出荷量 (ton)	シェア	前年同期比
1	**日本ヒューム(株)**	**12,012**	**24.3%**	**+5.5%**
2	中川ヒューム管工業(株)	9,289	18.8%	+5.4%
3	ベルテクス(株)	5,894	11.9%	+2.9%
4	藤村クレスト(株)	4,527	9.2%	△1.6%
	その他	17,625	35.8%	△12.4%
	合計	49,347	–	–



※日本ヒューム(株)の数値は、持分法適用会社である
東京コンクリート工業(株)（株式40%保有）の数値を含みます

（出典：全国ヒューム管協会資料より算出）

業界データ（基礎事業）：パイル需要推移

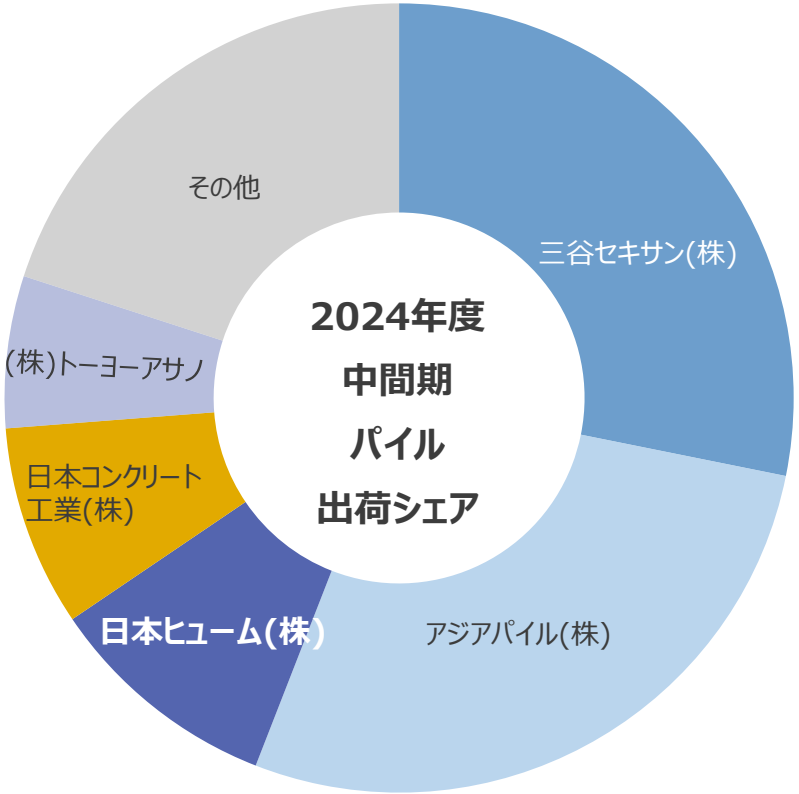


	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年上期
全国	2,797,478	2,701,738	2,675,843	2,745,409	2,726,033	2,580,858	2,380,428	2,438,730	2,131,507	981,937
日本ヒューム	251,255	250,863	248,664	288,546	252,593	247,122	192,720	189,997	198,132	94,335
日本ヒュームシェア率	9.0%	9.3%	9.3%	10.5%	9.3%	9.6%	8.1%	7.8%	9.3%	9.6%

（出典：コンクリートパイル・ポール協会資料より算出）

業界データ（基礎事業）：2024年度上期パイル出荷実績

	会社名	出荷量 (ton)	シェア	前年同期比
1	三谷セキサン(株)	276,600	28.2%	△0.8%
2	アジアパイル(株)	272,491	27.8%	+3.6%
3	**日本ヒューム(株)**	**94,335**	**9.6%**	**+1.0%**
4	日本コンクリート工業(株)	80,925	8.2%	△1.8%
5	(株)トーヨーアサノ	61,164	6.2%	△0.6%
6	前田製管(株)	36,495	3.7%	△2.1%
7	マナック(株)	30,486	3.1%	+0.5%
8	日本高圧コンクリート(株)	14,121	1.4%	△0.3%
	その他	115,320	11.8%	+0.5%
	合計	981,937	–	–



（出典：コンクリートパイル・ポール協会資料より算出）